

高知県の地震

目 次

高知県の地震活動	
震央分布図及び断面図	1
地震概況	1
高知県で震度1以上を観測した地震の表	2
高知県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	2
地震一口メモ	
11月1日に緊急地震速報の訓練を実施します	3

※「高知県の地震」は月1回発行するもので、高知県及びその周辺の地震活動状況をお知らせすると共に、適宜、社会的に関心の高い地震について解説します。また、「地震一口メモ」で地震防災知識等の普及に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査された後に修正されることがあります。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

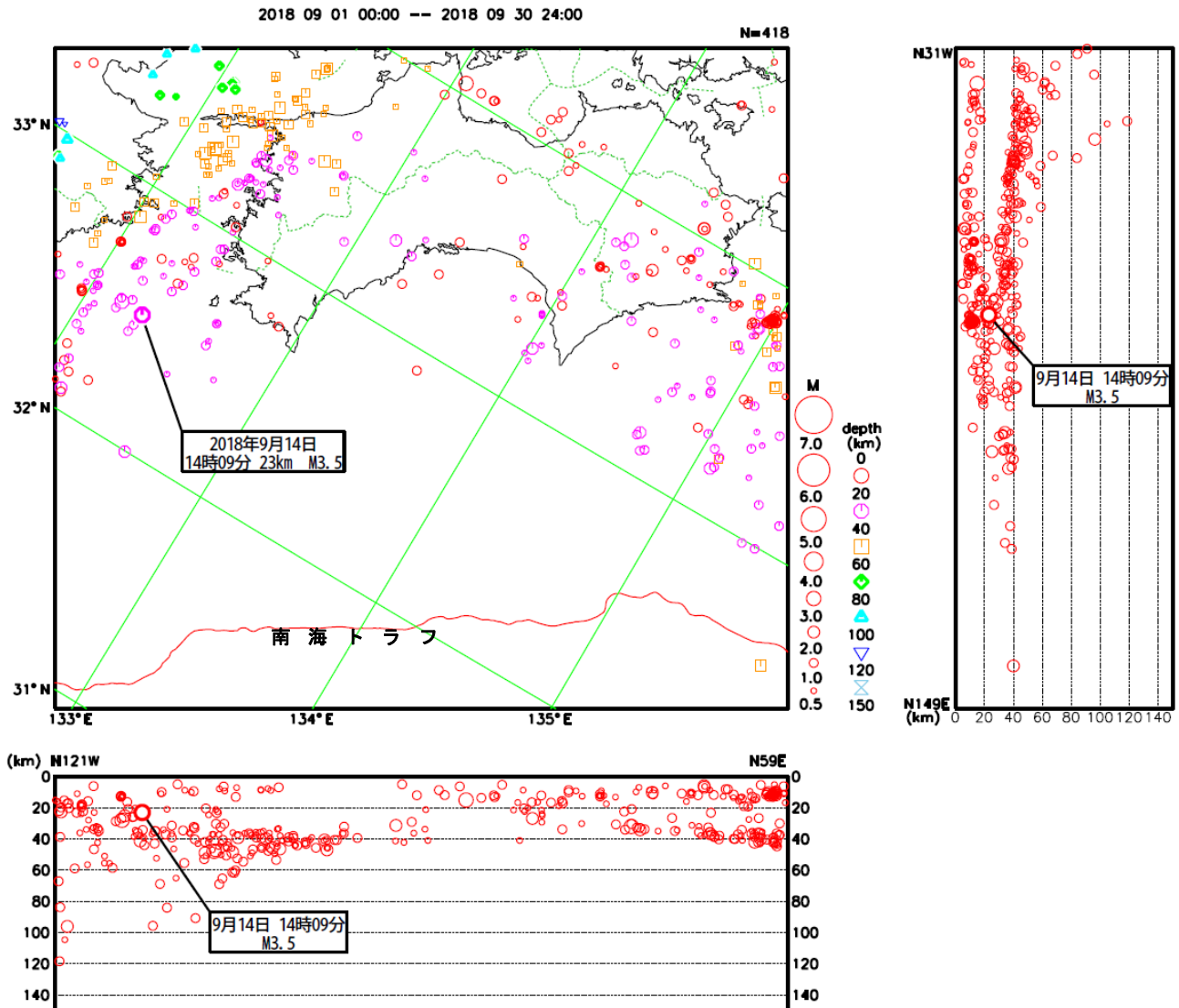
2018年(平成30年)9月

高 知 地 方 気 象 台

高知県の地震活動

「震央分布図及び断面図」

(2018年9月1日～9月30日)



震央分布図では、地震の規模を示すマグニチュード(M)はシンボルの大きさと表しています。震源の深さはシンボルの形と色を深さに応じて変えて表しています。

断面図(右図及び下図)は、震央分布図範囲内の地震の北北西-南南東方向断面図(右)と西南西-東北東方向断面図(下)を表し、それぞれの地震の震源の垂直分布を表しています。

「地震概況」

2018年(平成30年)9月に、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回でした(前月は1回)。

14日14時09分 日向灘の地震(深さ23km、M3.5)により、宿毛市で震度1を観測しました。

「高知県で震度 1 以上を観測した地震の表」

2018 年 9 月

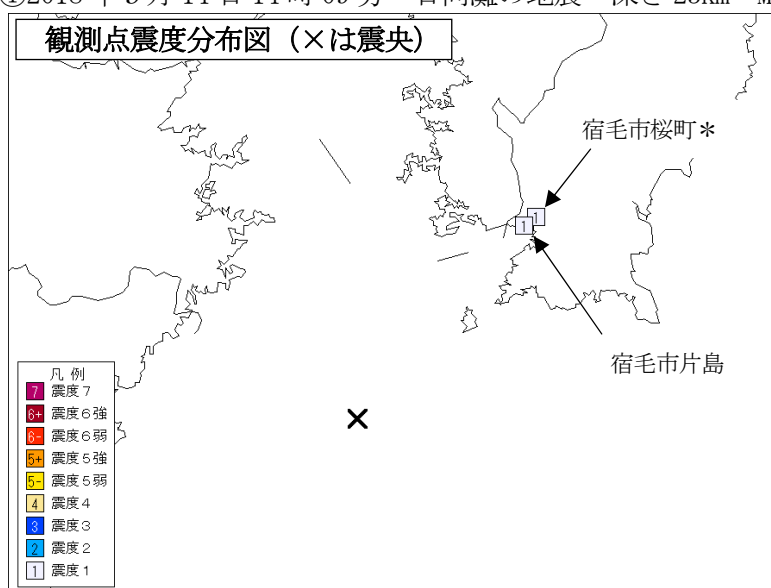
発震時刻 (年月日時分) 各地の震度 (高知県内のみ掲載)	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
①2018 年 09 月 14 日 14 時 09 分 高知県	日向灘 震度 1 : 宿毛市片島, 宿毛市桜町*	32° 31.1' N	132° 17.3' E	23km	M3.5

*印は、気象庁以外の震度観測点です。

「高知県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図」

2018 年 9 月

①2018 年 9 月 14 日 14 時 09 分 日向灘の地震 深さ 23km M3.5



※観測点震度分布図には、高知県内で最も大きい震度を観測した地点名を記載しています。

地震一口メモ

11月1日に緊急地震速報の訓練を実施します

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。

気象庁では、11月1日（木）に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間のごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してみましょう。

1. 訓練実施日時

平成30年11月1日（木）10時00分頃（気象庁からの訓練用緊急地震速報の配信時刻）

※気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の配信を急ぎょ中止する場合がありますので、御了承ください。中止を決定した場合には、速やかに気象庁ホームページ等でお知らせします。

2. 参加機関等

国の機関、地方公共団体、学校、民間企業等、個人

3. 訓練の内容等

訓練参加者は、訓練用の緊急地震速報を見聞きした際に、速やかに安全な場所へ移動するなど、それぞれの場面に応じた身の安全を確保する行動を実施しましょう。

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



頭を守って、安全な場所に避難！



危ない場所から離れて！



お店では、あわてず
係員の指示に従って！

4. 訓練用の緊急地震速報の配信について

気象庁は国の機関や地方公共団体（全国瞬時警報システム（以下「Jアラート」という）経由）、民間の緊急地震速報を提供する配信事業者のうち、訓練への参加を計画している機関や団体に対して、訓練用の緊急地震速報を配信します。

この訓練では、全国的に受信端末を起動させる必要があることから、震源要素が異なる複数の訓練用の緊急地震速報を短時間（10数秒程度内）に連続して配信する計画です。

※なお、テレビ、ラジオ（一部のコミュニティFM等は除く）の放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メールでは、訓練用の緊急地震速報は流れません。

気象庁が配信する訓練用の緊急地震速報の受信については概ね以下のとおりです。

➤ 携帯電話・スマートフォン（自治体の防災メールや災害情報を配信するアプリ等）

登録した自治体や使用しているアプリケーションによっては、訓練であることを明記した緊急地震速報が流れる場合があります。

➤ 専用受信端末

端末の設定や情報を配信する事業者によって異なります。

お手持ちの受信端末の動作についてや、訓練用のメールの配信の有無等について、より詳しい情報を求める場合は、各端末メーカー、配信事業者、防災メールを運用する自治体の担当者などにお問い合わせください。

11月1日に緊急地震速報の訓練を行います — 緊急地震速報を見聞きした際の行動訓練—

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/2018/02/kunren.html>